

日本脳炎の発生状況及び抗体保有状況について

日本脳炎患者発生状況

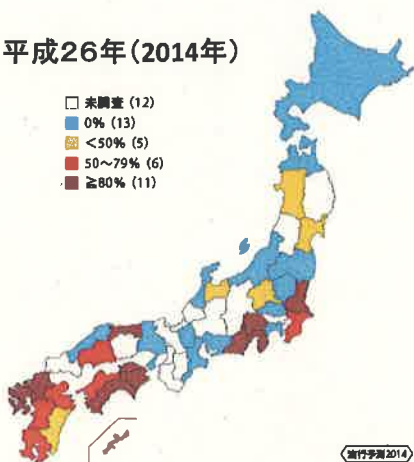
年	患者数		患者発生自治体
	全国	全道	
H11(1999)	5	0	徳島県、高知県、福岡県、長崎県、熊本県
H12(2000)	7	0	岡山県、山口県(2事例)、高知県、佐賀県、長崎県、大分県
H13(2001)	5	0	和歌山県、愛媛県、高知県、福岡県、長崎県
H14(2002)	8	0	石川県、大阪府、鳥取県、島根県、岡山県、広島県(3事例)
H15(2003)	1	0	福岡県
H16(2004)	5	0	奈良県、広島県、福岡県、佐賀県、熊本県
H17(2005)	7	0	静岡県、三重県、島根県、岡山県(2事例)、佐賀県、熊本県
H18(2006)	7	0	広島県、高知県、福岡県(2事例)、熊本県(3事例)
H19(2007)	10	0	石川県(2事例)、愛知県、鳥取県、島根県、広島県、山口県、福岡県(2事例)、熊本県
H20(2008)	3	0	茨城県(2事例)、愛知県
H21(2009)	3	0	大阪府、高知県、熊本県
H22(2010)	4	0	三重県、山口県、高知県、長崎県
H23(2011)	9	0	東京都、山口県、福岡県(4事例)、長崎県(2事例)、沖縄県
H24(2012)	2	0	福岡県、熊本県
H25(2013)	9	0	三重県、京都府(2事例)、兵庫県、岡山県、徳島県、長崎県、熊本県(2事例)
H26(2014)	2	0	兵庫県、熊本県

出典: 感染症発生動向調査(国立感染症研究所感染症情報センター)

感染症流行予測調査(ブタ日本脳炎抗体保有状況)

平成26年(2014年)

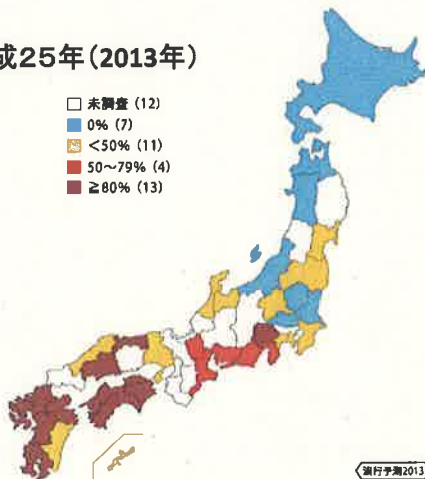
- 未調査 (12)
- 0% (13)
- <50% (5)
- 50~79% (6)
- ≥80% (11)



流行予測2014

平成25年(2013年)

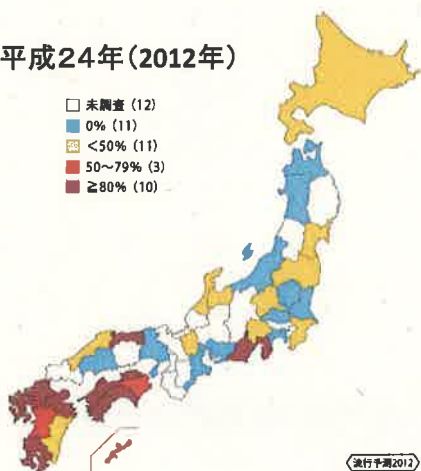
- 未調査 (12)
- 0% (7)
- <50% (11)
- 50~79% (4)
- ≥80% (13)



流行予測2013

平成24年(2012年)

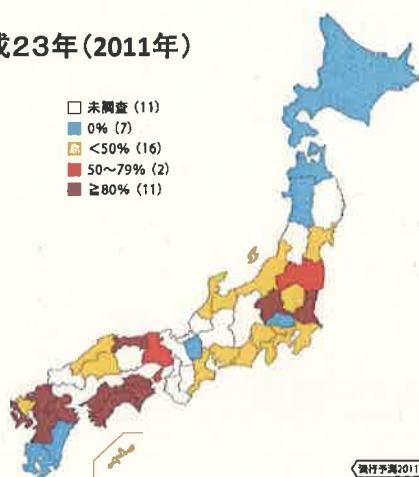
- 未調査 (12)
- 0% (11)
- <50% (11)
- 50~79% (3)
- ≥80% (10)



流行予測2012

平成23年(2011年)

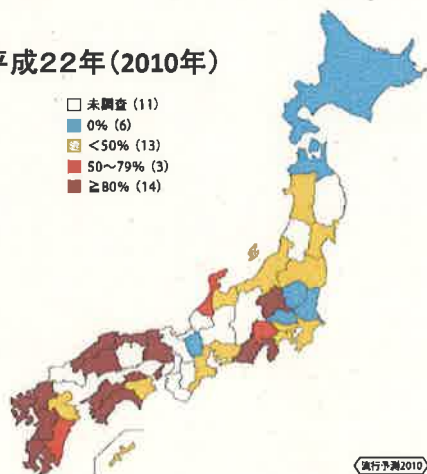
- 未調査 (11)
- 0% (7)
- <50% (16)
- 50~79% (2)
- ≥80% (11)



流行予測2011

平成22年(2010年)

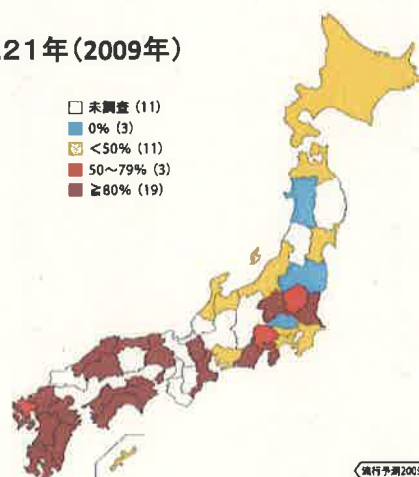
- 未調査 (11)
- 0% (6)
- <50% (13)
- 50~79% (3)
- ≥80% (14)



流行予測2010

平成21年(2009年)

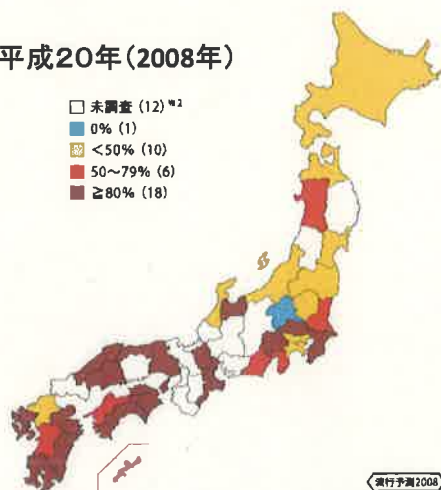
- 未調査 (11)
- 0% (3)
- <50% (11)
- 50~79% (3)
- ≥80% (19)



流行予測2009

平成20年(2008年)

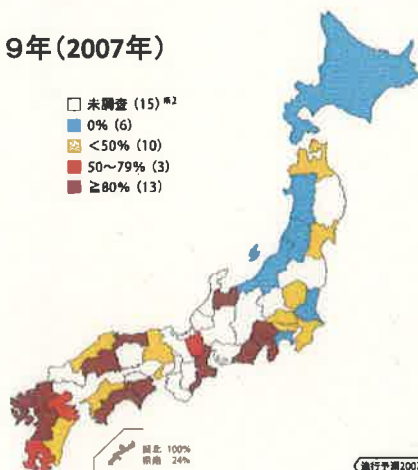
- 未調査 (12)^{※2}
- 0% (1)
- <50% (10)
- 50~79% (6)
- ≥80% (18)



流行予測2008

平成19年(2007年)

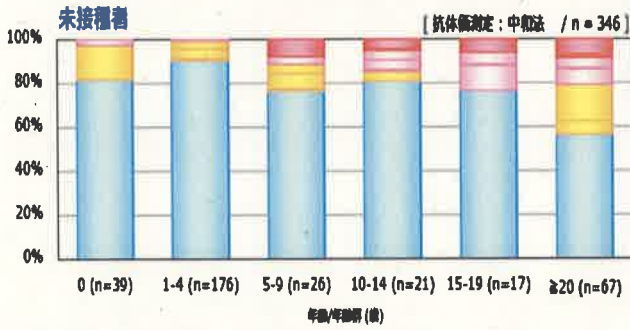
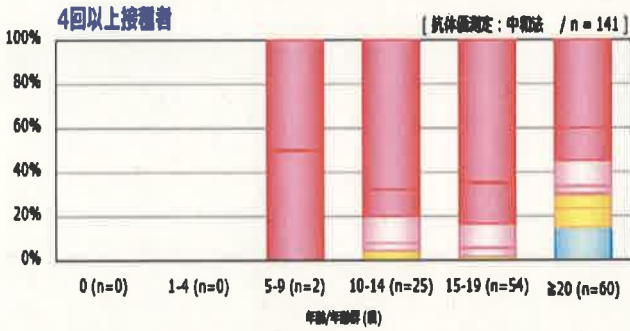
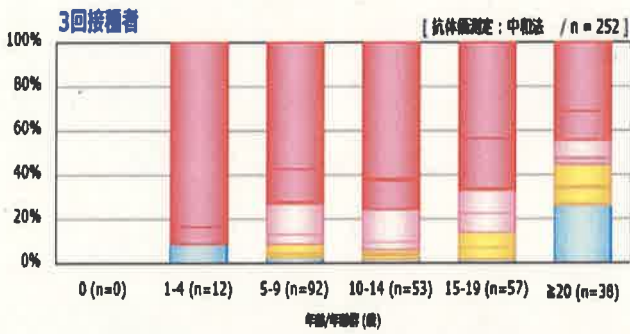
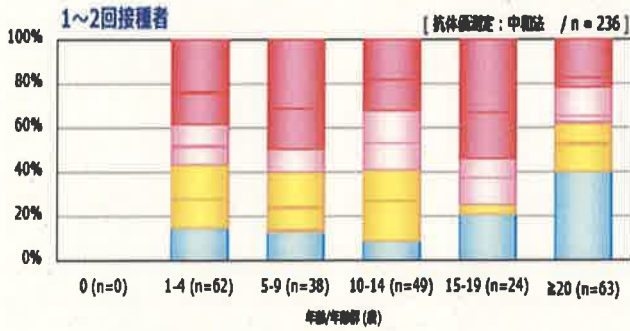
- 未調査 (15)^{※2}
- 0% (6)
- <50% (10)
- 50~79% (3)
- ≥80% (13)



流行予測2007

日本脳炎ワクチン接種歴別の年齢/年齢群別日本脳炎抗体保有状況, 2013年^{#1}
 ~ 2013年度感染症流行予測調査より ~

#1 主に2013年7~9月に実施された全世帯の調査結果

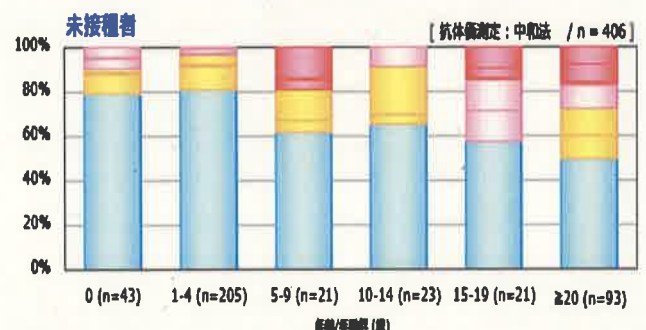
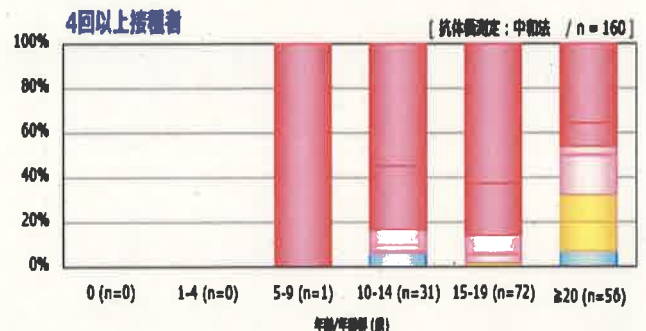
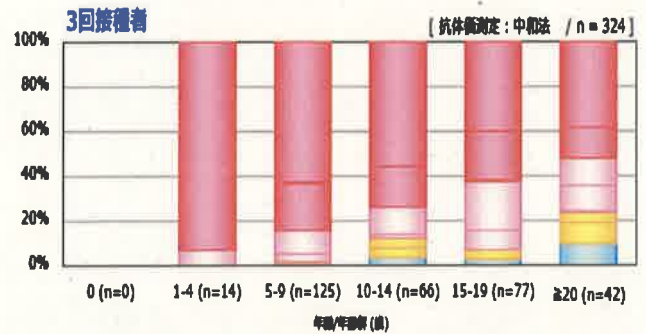
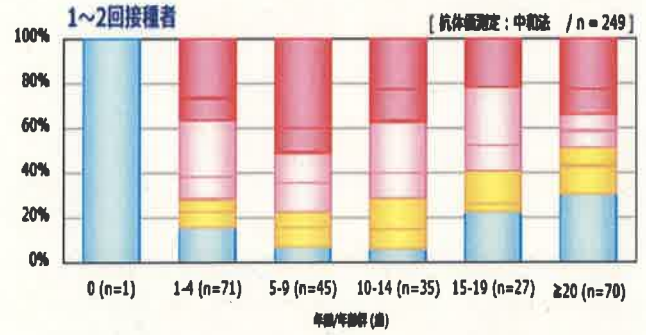


抗体価 <1:10 1:10 1:20 1:40 1:80 1:160 ≥1:320
 ※標準免疫: 初回2回+追加1回 / 追加免疫: 1回

流行予測2013

日本脳炎ワクチン接種歴別の年齢/年齢群別日本脳炎抗体保有状況, 2014年^{#1}
 ~ 2014年度感染症流行予測調査より ~

#1 主に2014年7~9月に実施された全世帯の調査結果: 2015年1月現在調査値



抗体価 <1:10 1:10 1:20 1:40 1:80 1:160 ≥1:320
 ※標準免疫: 初回2回+追加1回 / 追加免疫: 1回

流行予測2014

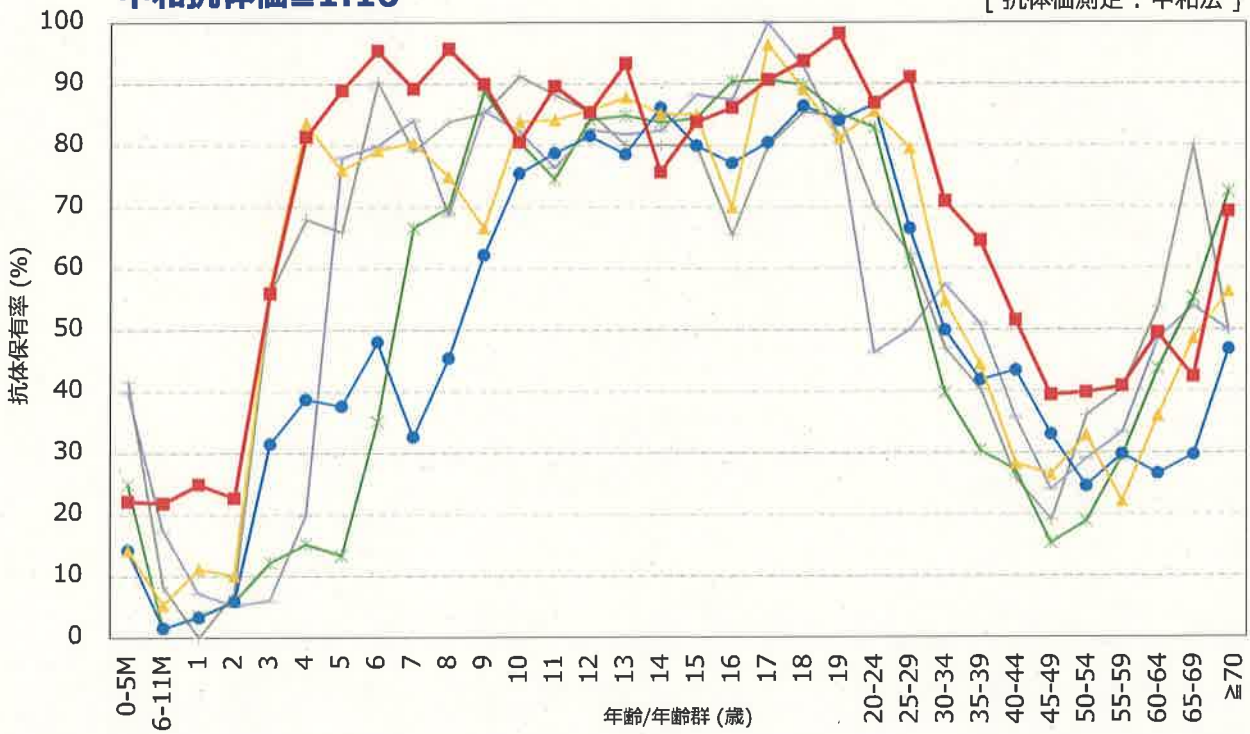
年齢/年齢群別の日本脳炎抗体保有状況の年度比較, 2004~2014年^{※1}

～ 2014年度感染症流行予測調査より ～

※1 2014年度は2015年3月現在暫定値

中和抗体価 \geq 1:10

[抗体価測定：中和法]



調査年度 (対象者数) 2004 (n=1905) 2006 (n=1197) 2008 (n=3216) 2010 (n=2870) 2012 (n=2074) 2014 (n=2229)

流行予測2014